

# 国連NGO横浜国際人権センター・うずしおランチ T-over人権教育研究所・人権こども塾ニュース

人間としての生き方を考える道德教育と同和教育<sup>⑩</sup> ～生き方を考える教育として～

## 『大会主題『人間としての生き方を考える道德教育』』

「舞台の横に書かれている大会主題を見てみると『人間としての生き方を考える道德教育』と書いてある。人間としての生き方を考えていく上では、同和教育も道德教育も変わらない」

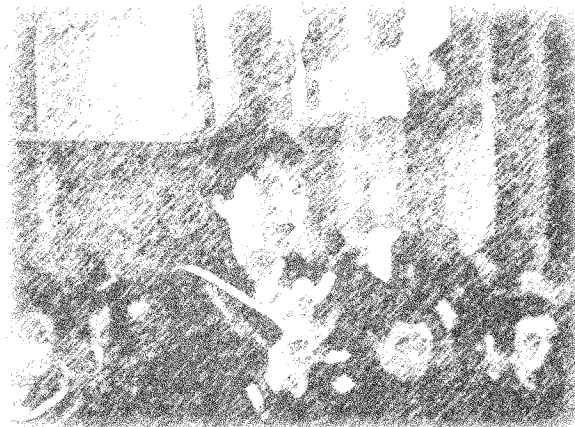
授業終了間近に語られたその生徒の言葉は、500名を超える参観者の心に広がるとともに、私の心に深く刻まれました。

## S・Eの語り

「今、この場に自分がいることをとてもうれしく思う」

この『ナイン』の資料を最初に読んだときは、まさかこの『ナイン』が同和问题学習と重なっているとは思わなかったけど、みんなの意見を聞くと、そうだなあと納得できて、今、この場に自分がいることをとてもうれしく思います。

このみんなとずっとこれからも部落差別の解消に向けて、頑張っていきたいし、ナインは正太郎のせいでくずれていったけど、私たちは絶対正太郎みたいな人を出さず、深い絆で結ばれる関係であり続けたいです。



## K・Tの語り

「私の友だちが初めて手を挙げてくれて、すごくうれしい」

今日、私の友だちが初めて手を挙げてくれて、すごくうれしかったです。友だちもうれしかったと思うけど、そのうれしさが自分のことのように思えてきて、何か本当にうれしかったです。

それと、今日手を挙げられなかった人も、自分ではできないと信じないで、自分ではできるんだと信じたら絶対できると思うから頑張ってほしいです。

## 授業終了時間を10分近く過ぎたところで起こったこと

まだ10名近くの生徒が挙手する中、私はクラスの一人一人に感謝を伝え、授業を終えようとしていました。その時、委員長長のH・Iが、強い言葉で時間の延長を訴えてきました。そして、その言葉に押されるように、私は「時間もらいます」と発言し、R・Hを指名しました。

## R・Hの語り

「みんなの意見を聞いて、発表する気持ちが沸き起こってきました」

僕は今まで一回も発表したことがなかったけど、みんなの意見を聞いて、発表する気持ちが沸き起こってきました。この授業をする前、『ナイン』は同和问题学習とは全然関係ないと思っていたけど、『ナイン』を勉強していくうちにやっぱり同和问题学習と結びつきがあるんだと思いました。だからこそ何かこんなに熱いものがこみ上げてくるんだと思いました。

本気の人権学習は、——「すべてを変える」

うずしおランチ共同代表 森口 健司

